

ニッセイ緑の財団復興支援シンポジウム

2013年1月12日（土） せんだいメディアテーク・オープンスクエア

震災で生まれた「連携」と「共生」

～震災復興共生住宅「手のひらに太陽の家」～

日本の森
バイオマス
ネットワーク



NPO法人日本の森バイオマスネットワーク

理事長 佐々木豊志



岩手県

●盛岡

▲栗駒山

“手のひらに太陽の家..”

●登米市登米町(とめし・とよままち)

宮城県

●仙台

福島県

100km



7月21日 竣工式
開所式



“手のひらに太陽の家”

プロジェクトがなぜ始まったのか？

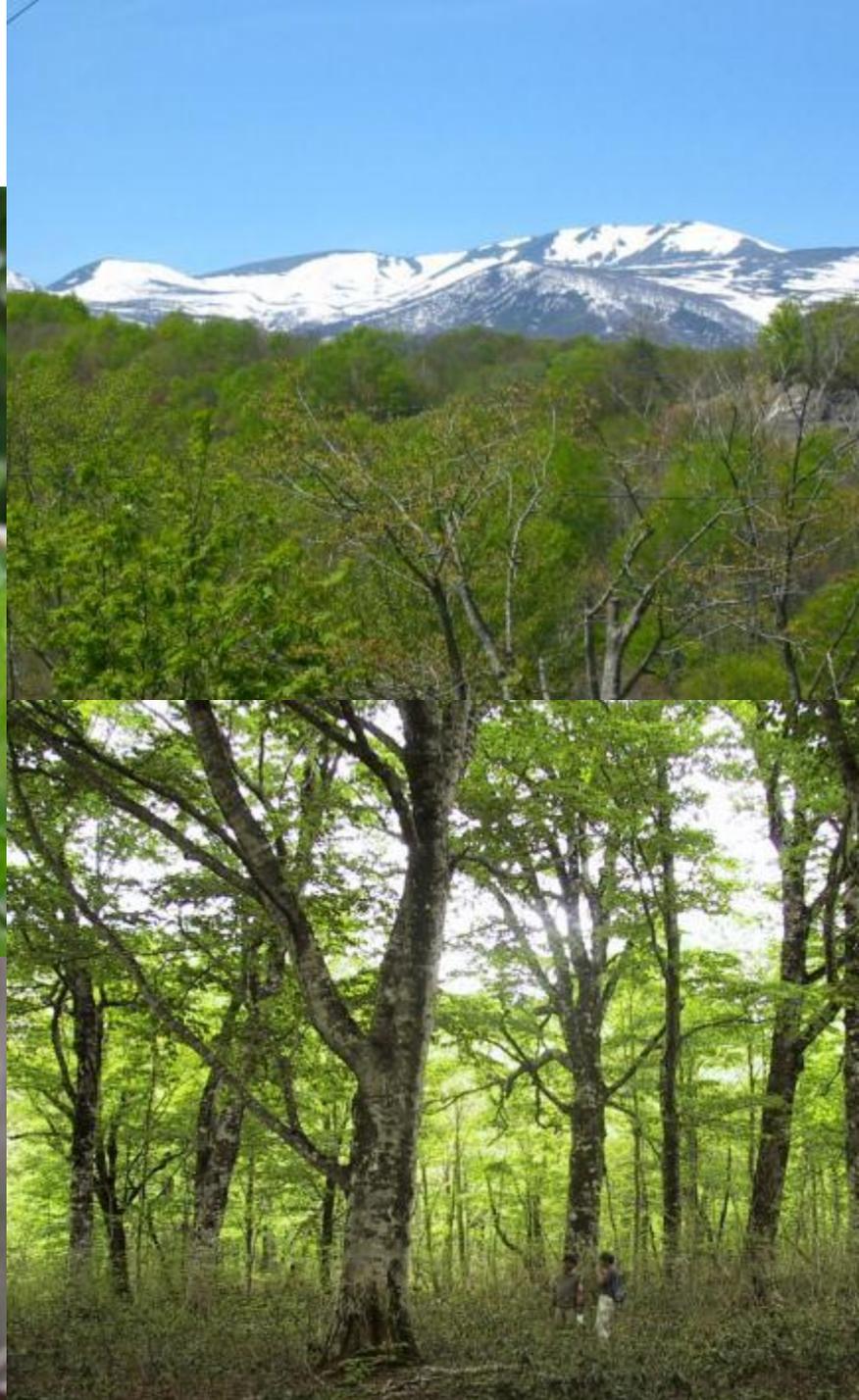
そしてこれからどうなるのか？

さまざまな方々との
つながり、連携
共生する思いの共有

未来へ向けて
“子ども” と “環境”



春・Spring



夏・Summer



秋・Autumn



冬・Winter





次代を担う子どもを育む野外教育事業



積雪期の体験活動



イグルー泊

スノーワンダーランド&雪上キャンプ



雪の栗駒山アタック

森のようちえん



自給事業・豊かな生活を創造する



「食」にこだわる農的な生活



家畜が~~い~~る暮らし



馬と暮らす



自然学校と木材屋の出会い

◆森林教室の開催

森林環境を知り、健全な森をつくる。

健康・安全な建材の提供と・・・

・・・・・・地球環境に配慮した材木の供給



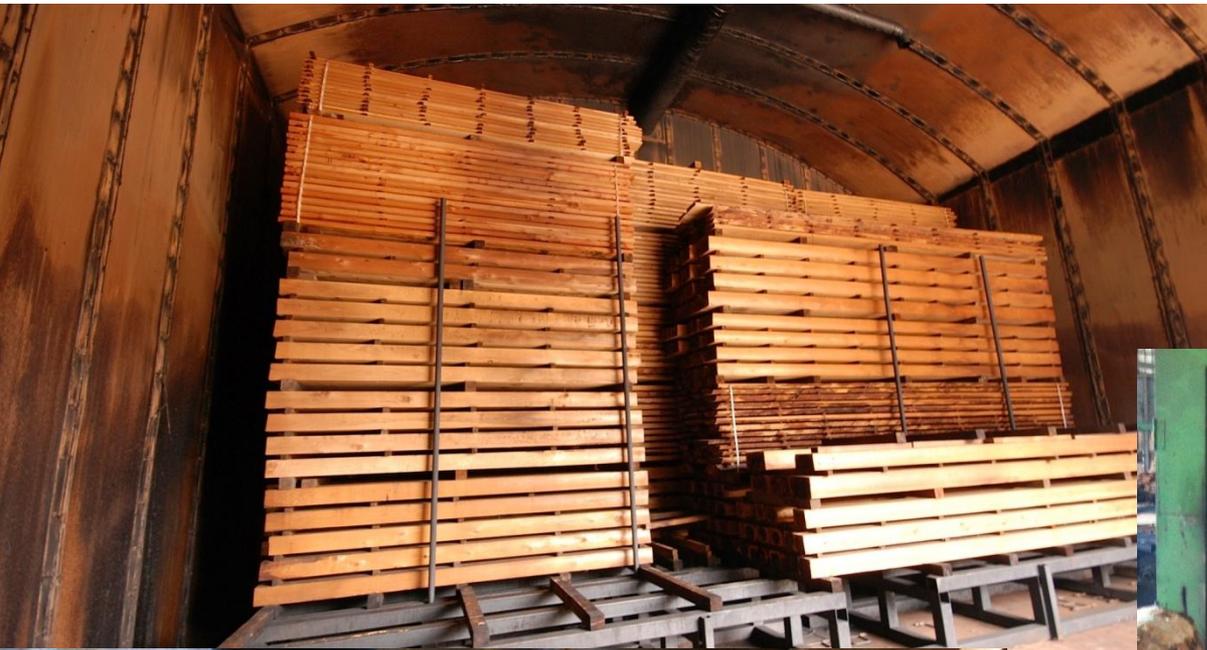
燻煙乾燥木材

乾燥に化石燃料を使わない
防虫防カビに科学物質を使わない
燻して乾燥して出荷する









自然環境と共生した持続可能な暮らしを創造する ……………という共通の基本的な理念

これまでも自然学校の活動を通じて感じてきたこと

- 栗駒山麓に広がる森林が荒廃している
- この未利用資源の活用は環境保全、循環型地域社会の構築、地場産業の創出につながる



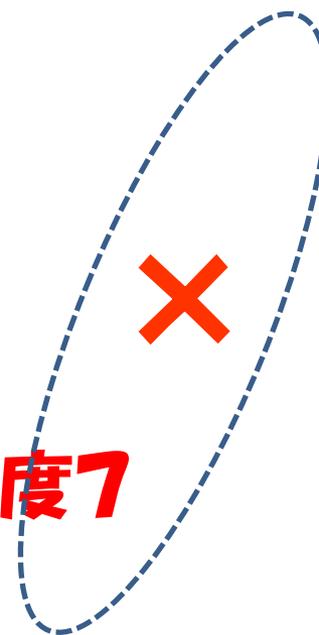
2008年6月14日8時43分

岩手・宮城内陸地震 M7.2 最大震度6強



2011年3月11日14時46分

東日本大震災 M9.0 最大震度7



2008年6月14日岩手・宮城内陸地震









駒の湯温泉を流した土石流
三迫川上流部V字谷に40・50mの土砂が堆積した



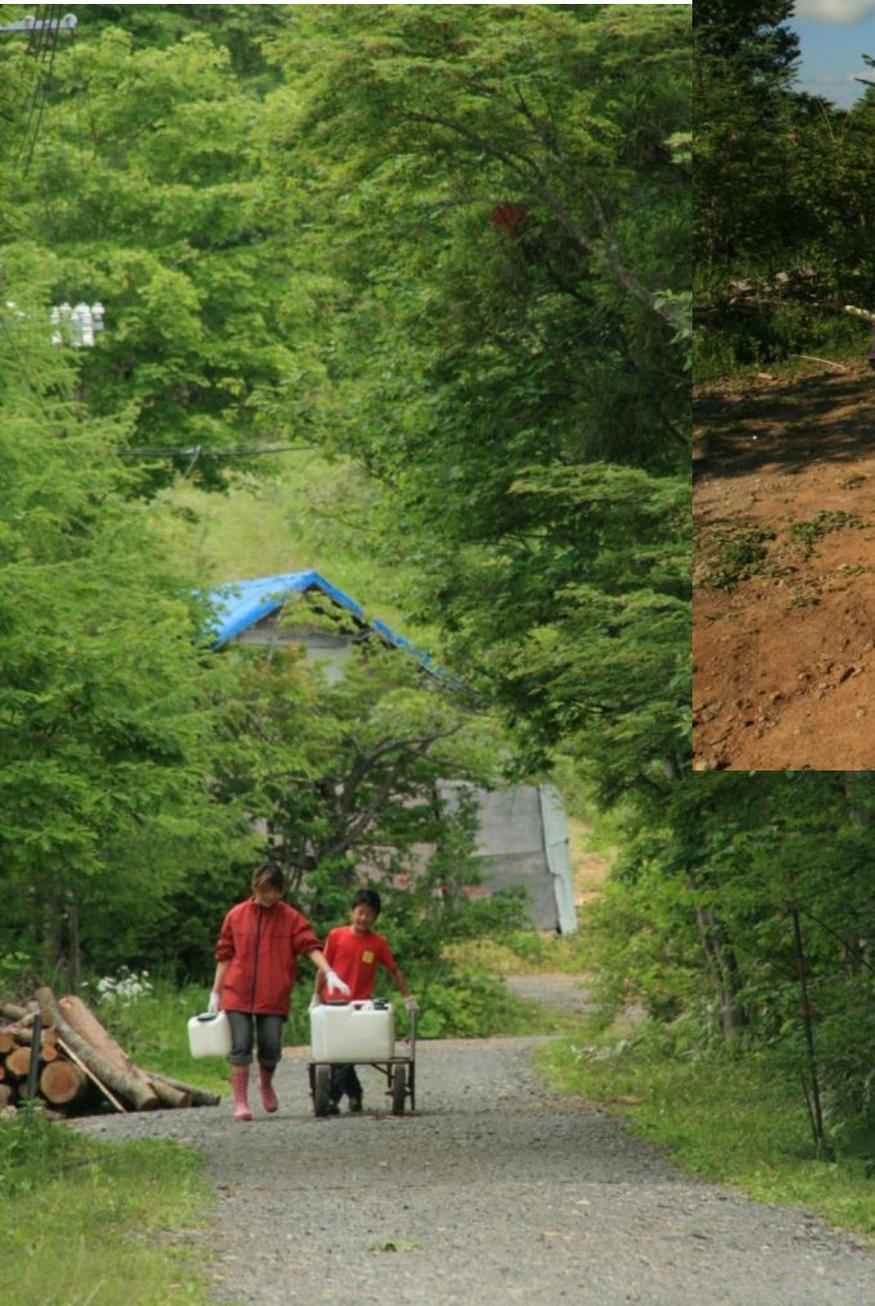


くいま高原自然学校の 震災直後の惨状

くいこま高原自然学校の施設 基礎が甚大な損傷



曳き屋で移動し
基礎を造り直す。
エコハウスとして再建
を目指している。



**“孤立、ではなく
“自立した、避難生活が始まる。**

**情報の共有
今後の確認を全員でする。**



**発電機でテレビを見る
あらためて状況を知る**



**6月16日
4名を残し
16名が山を降いた。**



3日後 避難指示 6月17日避難民で情報共有 全住民が山を降いた。 伝創館で避難生活が始まる。



森林資源の活用を推進する協議会の立ち上げ

●2008年に発生した「平成20年岩手・宮城内陸地震」で被災した「くりこま高原自然学校」が避難した里山で新たに取り組む事業を創造するために、内閣府が助成する「地方の元気再生事業」に応募し、森林資源を活用し地域活性化の提案をしたことから始まった。

継続した活動基盤を整えるため、みやぎバイオマスネットワーク(現・日本の森バイオマスネットワーク)を設立(2009/12)

新しい連携.....

自然学校という教育事業所
地元の製材所や工務店
地元でペレットを製造している製材所
森林保全に取り組むNPO
県職員、
仙台のマーケティング会社
ペレットストーブ製造会社などが参加。



NPO法人日本の森バイオマスネットワーク設立

森林資源の活用を図る森林部会を設置
平成21年度に以下の取組みを実施

- 1.木質ペレット燃料の普及啓発
- 2.石窯の普及啓発
- 3.森林資源の活用を推進する協議会の立ち上げ

この協議会がNPO法人となる。



3.11震災前までの私たちの主な活動内容

木質ペレット燃料の
普及啓発

森林環境教育



排出権取引
(J-VER制度)



自然と共生する低炭素社会の実現へ！

木質ペレット燃料の普及啓発

- 新たな森林資源の活用手段としての木質ペレット燃料が注目されている

古川氏との出会い(新潟県・サイカイ産業)

- しかしペレット燃料の認知度はまだ低いため、普及啓発のためのイベントを実施した



森林資源活用講座(2009/10)



冬のアウトドアランチパーティ(2010/2)



くりこま田舎っふえ(2010/2)

石窯の普及啓発

- 石窯は森と暮らしをつなげる
薪とともにある暮らしの提案
- 石窯製作ワークショップを実施し、イベントでも活用。森と暮らすライフスタイルを広めた



石窯づくりワークショップの様子と完成した石窯(2009/11)

森を考えるカフェ

- 農家レストランやカフェなどで、環境に関する活動をしているゲストの話を伺うカフェスタイルの講座
- 隔月開催で既に3回実施。毎回20名ほど参加



第2回 大崎市の農家レストランにて(2010/7)



第3回 登米市の珈琲店にて(2010/9)

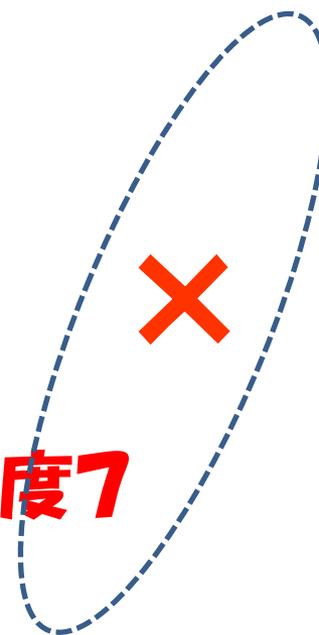
2008年6月14日8時43分

岩手・宮城内陸地震 M7.2 最大震度6強



2011年3月11日14時46分

東日本大震災 M9.0 最大震度7



物資とテントでぎっしり
(登米市東和町:旧鱒淵小学校体育館)
メンバーアウトドア義援隊と合流







荷物を積んで出発

多いときは25台・・・約70往復

これまでに合計約400tの物資を届けた

全国・世界各国からボランティア延べ45,000名を超える



南三陸町志津川市にデリバリーの車に入る。
見渡す限りの津波の被害が広がってくる。



南三陸町役場の防災センター ここから避難を呼びかける放送が



漂着物を片付け、山全体を清掃 石段のかなり上まで漂着ゴミが散乱



日本の森バイオマスネットワークの災害支援 ペレットストーブと物資による緊急支援

3/11 東日本大震災発生。

電気、燃料の供給が止まる

3/12 避難者の低体温症が問題となる

3/18 さいかい産業からストーブ20台
が届く

物資中継所を開設。

支援物資の募集・配達も開始

3/26 さいかい産業からさらに
ペレットストーブ20台提供

3/30 ほとんどのストーブを設置完了

4/1 支援物資の募集を終了

緊急支援から次の段階の支援へ



東日本大震災の緊急支援活動

NPO法人の森バイオマスネットワーク

被災地にペレットストーブ43台を設置



仮設住宅の問題

- ◆ 結露や騒音・低断熱
- ◆ 建物の使い捨て
- ◆ 地元建築業が参入できない制度
- ◆ 地元経済に対するプラス効果が薄い



従来の仮設住宅に代わる安心して暮らせる生活の場を！

日本の森
バイオマス
ネットワーク



“手のひらに太陽の家”

【持続可能な復興共生住宅概念図】



地元企業、
地元森林

素材業者、製材業者、大工、
工務店、木質バイオマス燃料工場

木材、木質バイオマス燃料の供給

手のひらに太陽の家



- ・放射線から福島の子どもを守るための寄宿住宅
- ・内部に事務所を持ち被災者をサポート
- ・地元の材木、木質バイオマス燃料の利用を提案するエコハウスのモデル

復興住宅



食

エネルギー

循環

雇用

防災

- ・地元の材木、木質バイオマス燃料の利用
- ・雇用による地元経済の復興

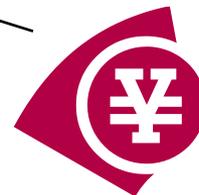
避難所



民間ファンド

補助金

募金



エネルギーも自立するモデルハウス・復興住宅へ提案！

国産の木を使って建てた木造平屋

- 共有スペースの大きなキッチンと大広間。
(ロフト付)
- ユニットバス&収納を装備した8畳のフ
ローリングの個室。(8部屋)



手のひらに太陽の家プロジェクト、進行中！

【ご支援をいただいた企業・団体】

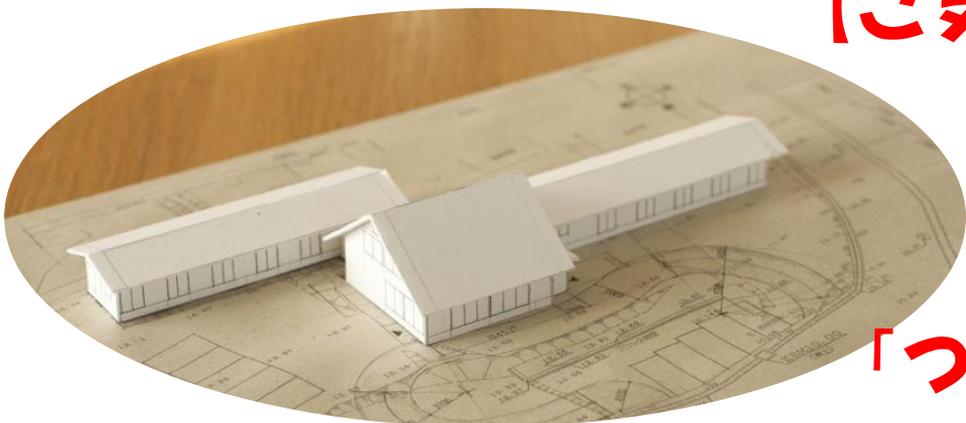
株式会社モンベル

WWFジャパン

中国非公募基金

「つながいぬくもいプロジェクト」

ほか多数



ペレットストーブ



ペレットボイラー



地域材利用



太陽熱給湯

太陽光発電



被災した子どもたちのための環境共生住宅

低炭素・循環型社会のモデルへ！

間伐材活用

組手什（くでじゅう）の 制作・普及



避難所のパーティーションに利用

家具づくりに挑戦

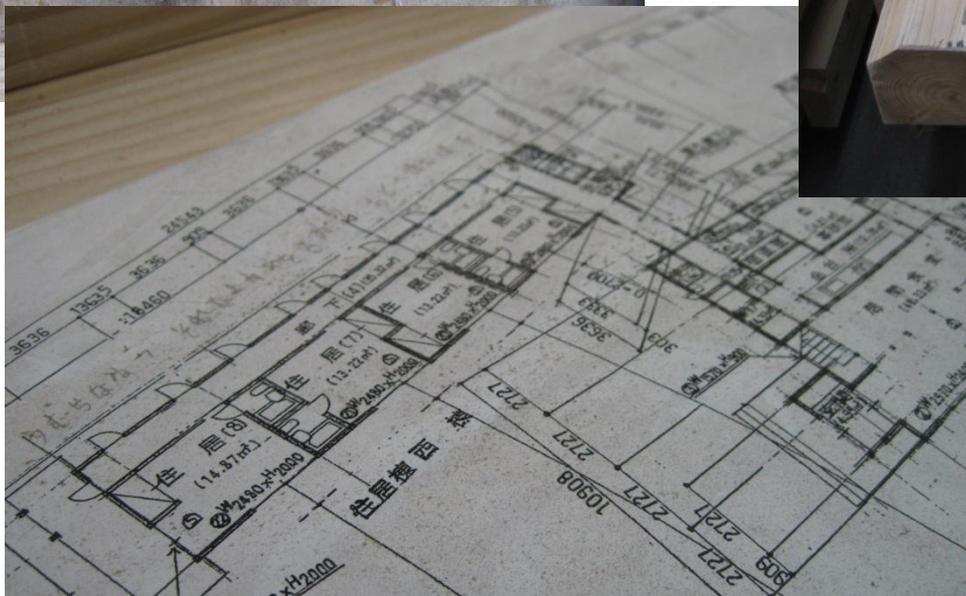
国産材を使った家具づくりにこだわる
家具メーカーワイスワイスと連携

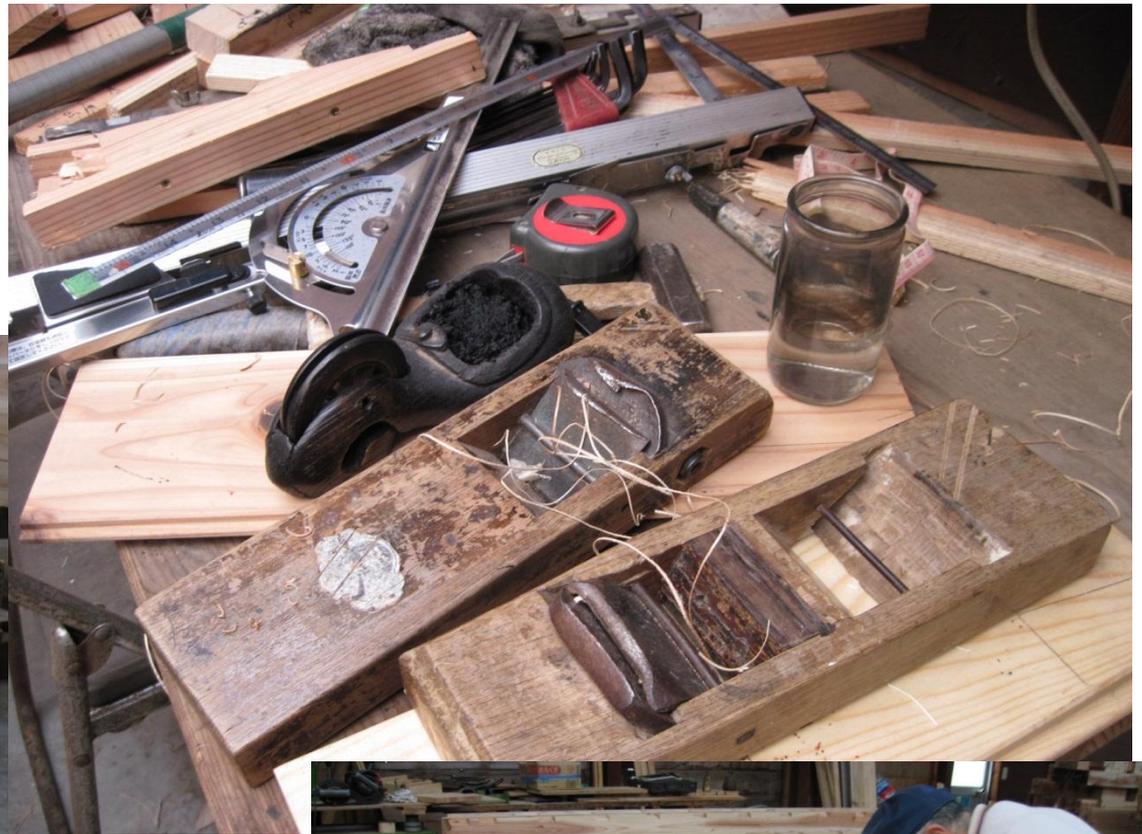


宮城県登米市登米町の小高いに丘建設が始まる



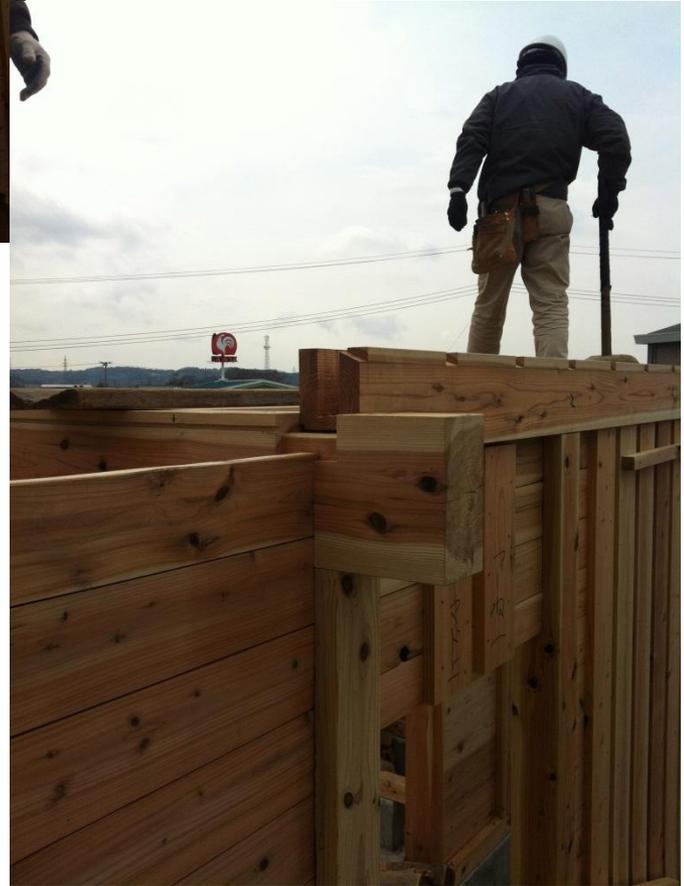
地元の大工さんが手刻みで建てる







3月27日
いよいよ
上棟が始まりました









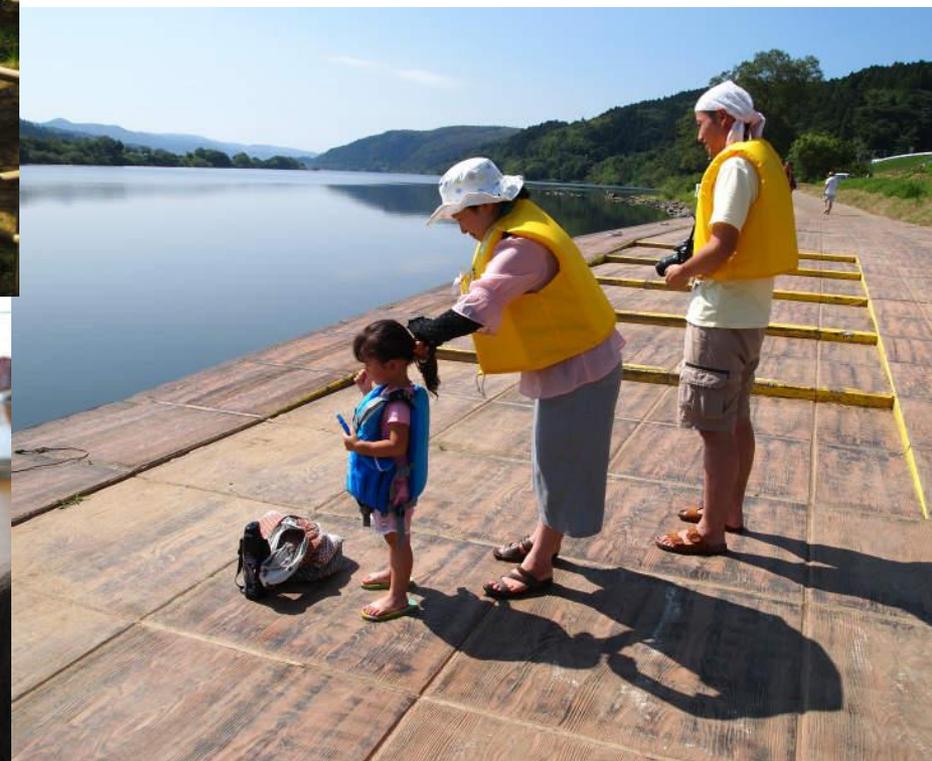
7月21日 竣工式
開所式



放射線量が高い所に住まざるを得ない、 福島県の子どもたちを受け入れている



自然学校ができるプログラムを提供 外遊び・北上川くだり・米粉でパン作りなど……



外で存分に遊ぶ……こんな普通のことが福島の子どもたちにはできない



福島と登米の親子：森のようちえんを開催



子どもたちの交流

親御さんにとっても意味ある時間



福島の現状を伝える役割

登米(とよま)町ってどんなところ？



- 宮城の明治村
- 石ノ森章太郎ふるさと記念館
- 教育資料館



自然



TE NI TAI
NO YO
HI NO
RA IE



日本の森
バイオマス
ネットワーク

